

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 2013 第2号

2013.8.21
第2回会議
基本計画の
評価をする
の巻

平成25年度2回目の未来創造会議が8月21日に市民交流プラザにて行われました。

<当日の流れ>

今回より、第1回会議で検討した「今年度の会議をこうしたい」というアイデアから会議前にカフェタイムを実施しました。このカフェタイムは、18時から開会までの30分間、情報交換や会議をがんばるための栄養補給を目的としております。(次回も改善し、行います)

会議のスタートは情報提供です。総合計画の基本構想、基本計画、実施計画の位置づけ、指標1つ1つの評価の積み重ねがそれぞれのありたい姿に近付いているかを評価し、各施策のありたい姿の実現が、最終的には北上市の将来像につながっていくこと、そして未来創造会議では、この評価を行うことで、計画全体の進捗管理を行うものであることを共有しました。

その後、6分野に分かれて90分のワークショップを行いました。今回は、「目指すべき姿」をあらわす目標値に、平成21年から4年間の指標値の推移を照らし合わせ、「順調」「おおむね順調」「やや遅れている」「遅れている」の4段階で個別指標および施策の評価を行いました。

評価においては、目標値の設定を変えた方がよいもの、指標そのものが目指すべき姿を表現できていないものもあり、この部分は、指標や目標値の改善にもつなげていきます。

今回は皆様のご協力のもと、評価は7~9割程度終了することができました。次回は、評価を全て終了すること、そして、指標、目標値、そして具体的な取り組みに関する改善案の検討にうつります。

次回に向けて、会議当日、目標値と実施計画を対応して確認できる資料を配布しております。次回は、この資料そして、総合計画に記載している市民、企業の取り組みも参考に改善案を検討しますので、ぜひ事前にご確認の上、ご参加いただければと思います。

次回もよろしく申し上げます。

<次回の会議について>

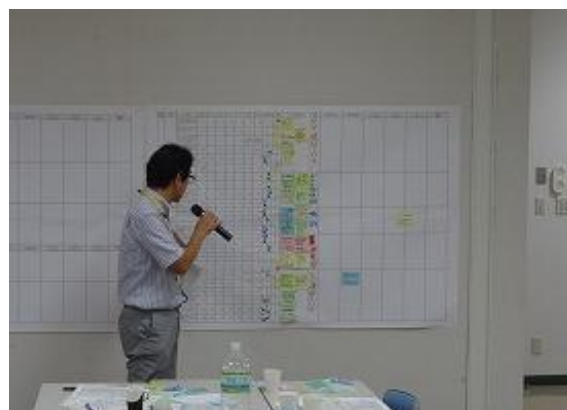
- 平成25年9月4日(水) 18:30~20:45
- 会場：市民交流プラザ
- ※18:00よりカフェタイムです。ぜひご利用ください。



グループごとの施策評価



グループでの意見とりまとめ



進行状況を全体で共有



評価の感想も一緒に共有

〇ふりかえりカード

- 今回は気分がゆっくりでできた。途中のコーヒータイトも良かった。その際に話し合いで来た。評価について意見交換したことにより、評価が訂正された。よかった。菓子類良かったが欲を言えば塩っぱい物も欲しい。
- 指標の取り方が施策の実態を表すものになっているかが重要なポイントだと思います。この場で代替案を示すことは難しいと思うので、マッチしない不要と思われる指標を指摘するだけでもいいと思います。
- 前もそうだったが、分野以外のことはむずかしい。
- 評価数値の基準値(分子・分毎)の取り方が変わった項目は目印があれば良いと思った。
- 評価は単純に数字で。指標の内容を吟味したい。
- 様々な施策の現状を知ることができてよかった。
- 指標が適切かどうか、どんな指標だったらわかりやすいのか迷います。なかなか作業が進みませんでした。
- 評価の対象とならないのではと思うような内容もあり、難しくて頭が痛い。サンドイッチおいしかった。
- 目標値は達成できているものの、指標が本当に適切なのか悩ましい項目が多く、作業を進めるのが難しかった。
- 各指標の「立場」が違うため、それらをまとめて最終評価を出すのはむずかしい。
- 前回と同じ様な問題点を討議している時間が結構多かったことから、疑問(前回)を提示していれば、時間を削減出来たかもしれません。係員の毎回の配慮に感謝します。
- 議論より一歩進んだ熟議というスタイルでどのテーブルも熱気があって良かった。参加されている委員の皆さんが日頃、指標を高めるために協力しているのか(参加しているのか・利用しているのかなど)。その点が単なる批評ばかりなんじゃないのかときになりました。
- 数値のみで評価していいのか、本来的な目的を考えるか、評価しながらまようことしきりでした。
- 今日はグループ内の役割がピッタリで順調に進んだと思います。
- 指標の工夫が大事であると痛感。市職員の奮闘が数値に表れていたように思えます。
- 今日は、とても沢山の話を開けて良かった。しかし、時間が短く立ちっぱなしで疲れた。
- 文字にする事はやっぱりむずかしい。
- 話し合う量が多くてできるかな？と心配だったが、ほぼ予定通りこなせた。
- 昨年のスタイルと同じで、とっつきやすかった。
- 甘いものがよかった。可能ならば「小さなおにぎり」も。
- カフェの募金箱は見えやすいところにおいて！
- 指標に加えて、その数値になった背景も加味して(表現して)評価できるシステムになるとよりよくなるのではと思いました。
- ファシリテーター、サポーターともによかったです。